

厚生労働省指針13物質
文部科学省基準6物質
非配合
非トルエン・非キシレン

2液水性速乾ウレタン系床用塗料

フロア ヌルサット

NULL SATTO

簡単!

速乾

WOW!!

環境に
優しい

汚れ
にくい

■既存塗膜への密着性

商品名	旧塗膜
フロン50・55	○
フロンエポローラー	○
フロン22	○
フロンフルトップ	○
フロンクイックF	○
エポース	○
ソルエポ90	○
AUコート	○
ハイフロン	○
アースフロンR	○
アースフロン水性	○
フロンアクアエポ	○
パワフルフロンA-II	○
水性フロンA	○
フロンアクアファースト	○

■耐薬品性

試験項目	結果	試験条件	試験項目	結果	試験条件
耐水性	◎	水道水、1ヵ月浸漬	耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
耐塩水性	◎	20%塩水、スポット試験48時間	◎	◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	トルエン、スポット試験48時間	耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	キシレン、スポット試験48時間		◎	醤油、スポット試験48時間
耐酸性	◎	エタノール、スポット試験48時間	耐油性	◎	ソース、スポット試験48時間
	◎	10%塩酸、スポット試験48時間		◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間		◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間		◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	10%酢酸、スポット試験48時間	◎	◎	切削油、スポット試験48時間

※判定 ◎=異常なし/○=やや艶引け スポット試験はJIS A 5705に準拠 ※試験結果は弊社における試験に基づくもので保証値ではありません。

■性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観 A液	着色粘稠液	
B液	透明粘稠液	
引っかけ硬度	2H	JIS K 5600鉛筆法
摩耗質量	50mg	JIS K 7204テーパー式 摩耗試験機、 CS-17 9.8N 回転数1000回転
鏡面光沢度	80	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	S-W-O-M 500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

■乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使時間	3時間	2時間	1.5時間
上塗り可能時間	3時間	2時間	30分
歩行可能時間	5時間	2時間	2時間
重作業可能時間	18時間	8時間	7時間

◆施工上の注意事項

1. 下地は砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去して下さい。また、新設コンクリート・モルタルの表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。
2. コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ・硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
3. コンクリート・モルタルに発生した亀裂は、Uカットして、フロンエポバテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。
4. アスファルトコンクリート面には施工しないで下さい。
5. 2液反応硬化型ですから、配合比を厳守して下さい。A液10に対し、B液を1(重量比)の割合で計量、混合し、充分に搅拌均匀して下さい。不十分ですと、塗膜性能が充分に発揮されない恐れがあります。
6. B液はキャップ口からのみの添加では、規定量を配合することは困難です。中身を出したB液の缶の中に希釈用の水道水を投入し、しっかりと振って完全に中身を出し切って下さい。
7. 規定量以下の配合では、塗膜性能が充分に発揮されない恐れがあります。
8. 素地の水もれ、屋外での雨天時の施工は塗膜のはくり、硬化不良の原因となりますので絶対に避けて下さい。
9. 2液反応硬化型ですから、2時間以内に使い切って下さい。2時間を超えたものは塗膜に欠陥を生じますから絶対に使用しないで下さい。
10. 施工後23℃では、2時間程度経過後、歩行可能となります。ただし、この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。
11. ご使用になる環境を充分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
12. きれいに仕上げる為に、中毛ローラーにてタテ、ヨコ(十字)で塗装して下さい。
13. 厚塗りした場合、重量物により凹みを生じる可能性があります。標準塗布量を厳守して下さい。
14. 表面乾燥が早く、皮はりをしやすいため、開封後は速やかに使い切って下さい。
15. 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
16. ゴム製品やタイヤなどが長時間接触していると、汚染が生じたり塗膜が剥がれることがあります。
17. 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
18. 硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。

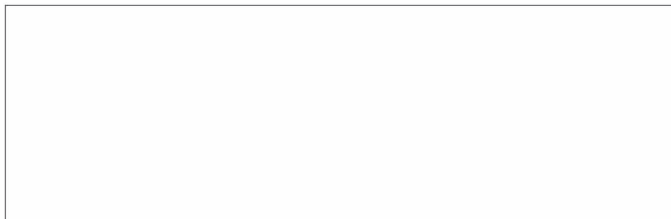
10℃以下 硬化後退 (カブリ、しわ、軟化発生)	15~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	--------------	-----------------------------

また、施工時の環境が悪い場合(低温時、換気が充分でない室内)は塗膜に欠陥(ヒビ割れ、硬化不良等)が発生する恐れがありますので、窓、ドアを開放する、又は送風機等を使用し、換気を良くして下さい。

19. 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
20. 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
21. フロンヌルサットは、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
22. 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
23. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
24. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業処理業者に処理を依頼して下さい。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健康に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。		
業務用	《注意事項》 1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので取扱については、容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。		

●お問い合わせは・・・



東日本塗料株式会社

本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063
 北海道出張所 TEL.090(8586)2214 FAX.03(3697)2306

2液水性速乾ウレタン系床用塗料

フローンヌルサット



汚れにくい

フォークリフトが
走行しても傷や汚れが
付きにくいです。

速乾なので

施工後8時間で
フォークリフト
走行(23℃)
OK!



簡単だから

①電動攪拌機が無くても
簡単に攪拌できます。

②既存塗膜に
プライマー無しで
密着します!

※既存塗膜への密着性は
一覧表を参照して下さい。

ご使用方法 フローンヌルサットは電動攪拌機が無くても攪拌できます

1 A液のフタを開けます

2 B液を開け口から
全量投入します

3 水道水を用意します

500mL
500mLの
ペットボトル
1本分

4 B液の缶に用意した
水道水を入れて
良く振ります

5 ④をA液に入れます

6 きっちりフタをしてA液の缶を
逆さまに15回、元に戻して15回
合計30回良く振ります

SHAKE!!

完成! **BAAAAAN!!**

缶の天板を皮スキなどで
切ってご使用下さい

手を切らない
ように気をつ
けて下さい

容量・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積
	A液	B液	セット	A液	B液	
フローン ヌルサット	12kg	1.2kg	13.2kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで44m ²
	3kg	0.3kg	3.3kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで11m ²

色相 色相は色見本帳をご参照下さい。

常備色(6色)、標準色(15色)※受注生産、指定色

常備色(6色)		標準色(15色) ※受注生産				指定色		
A-1	マスカットグリーン	B-4	ムーングレー	B-15	キャメルイエロー	B-22	マイルドグリーン	イエロー・赤系等の明度 及び彩度の高い色は、隠 ぺい性が低いので上塗り 工程1層目に共色(調色 品:白=1:1混合物)の塗 装をおすすめします。ま た、下地の色、凹凸の状 況、下地の吸い込み等の 条件によっては、上塗り 工程が標準塗装回数より 多くなる事があります。
A-2	エメラルドグリーン	B-5	シルバーグレー	B-16	チャイナベージュ	B-23	ウォーターブルー	
A-3	フレッシュグリーン	B-6	ハンターグリーン	B-18	ラインイエロー	B-24	ハーベストブラウン	
A-4	フォックスグレー	B-7	セメントグレー	B-20	ライトグレー	B-25	マリングレー	
A-5	サンドベージュ	B-12	ライトベージュ	B-21	アーモンドブラウン	B-26	ゴールデンイエロー	
A-6	スカーレットブラウン							

標準工法

工法名	工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備考
◇コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローン エコプラ速乾 ※1	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動 攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フローンヌルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水 道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて 塗布。
	4	フローンヌルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇既存塗膜面の塗り替え (総合塗膜厚約0.2mm)	1	素地調整	—	—	既存塗膜の浮き・ハガレ部はケレンし、除去する。 また、汚れ・油分・ワックスは除去し、必ずサン ダー・ポリッシャー等で目荒しを行う。
	2	フローンヌルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水 道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて 塗布。
	3	フローンヌルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇プラチップ仕上げ (総合塗膜厚約0.9mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローン エコプラ速乾 ※1	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動 攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フローンヌルサット フローンプラチップ 水道水	0.15 0.0075 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水 道水で4%希釈したフローンヌルサットを1に対し、 フローンプラチップを5%計量、混合、攪拌後、中毛 ローラー、ハケにて塗布。
	4	フローンヌルサット フローンプラチップ 水道水	0.15 0.0075 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇防滑(追吹付)工法 (総合塗膜厚約1.2mm)	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローン エコプラ速乾 ※1	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動 攪拌機にて攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	フローンヌルサット 水道水	0.15 0.006	直後	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水 道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	フローン 珪砂6号 または7号(追吹付)	0.3	2~48時間	工程3の直後、リシンガン(口径3~4mm)にてフ ローン珪砂6号または7号を散布。硬化後、余剰な フローン珪砂を除去。
	5	フローンヌルサット 水道水	0.2 0.008	2~48時間	
	6	フローンヌルサット 水道水	0.2 0.008	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水 道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて 塗布。

※1 吸い込みが激しい場合は、再度フローンエコプラ速乾を塗布して下さい。 ※フローンヌルサットの攪拌方法については、使用方法をご参照下さい。